

令和3年度 セーフティ教室 指導略案 3年1・2・3・4組

日 時 令和3年6月12日(土) 3校時

児童数 1組 33名 2組 33名 3組 33名 4組 33名

指導者 3年1組 担任 齋藤 マリ

2組 担任 土田 健一

3組 担任 高津 徳子

4組 担任 田後 洋平

1 活動名 交通事故の予防

2 ねらい 交通事故を防ぐためには、危険に早く気づき、正しい判断をして、安全な行動を取ることが大切であることを理解する。

3 展開

学習過程	学習活動	指導上の留意点
導入	1 前年度の交通事故の件数を確認する。 (30万9000件) ○交通事故がなぜ起きるのかを考える。 ①安全不確認(約30%) ②わき見運転(約15%) ③動静不注意(約11%)	・交通事故の原因について、子供たちの意見と、実際の相違を確認する。
展開	2 動画や画像を見て、隠れた危険と回避策について考える。 3 交通事故の防止方法を知る。 ○今までの経験を活かし、交通事故を防止する方法について考える。	・画像3-1、3-2、3-3を見せ、自転車が走っている周りの状況を確認する。 ・自転車安全教室で学んだことを基に、自転車で通行中の危険について想起できるようにする。 ・児童に危険を予測させ、発表させた後に、3-4、3-5、3-6を見せ、確認する。画像の他に出た危険の予測も尊重する。
まとめ	4 小学生の事故の特徴や、車の特徴について知る。 5 事故から身を守るための工夫や努力について知る。 6 本時の学習のまとめをする。 C:危険に一早く気付くことの大切さが分かった。 C:事故に遭わないように、左右の確認をしっかりしようと思った。	・車には内輪差があることや、ミラーに死角があることを、動画で確認する。 ・本時の学習を通して、事故を防ぐために、自分にできることを考えられるようにする。

